

平成 29 年 5 月 定例教育委員会々議録

1 日 時 平成 29 年 5 月 23 日 (火) 午後 1 時 30 分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室 102、103

3 出席委員の氏名

教育長	仲野 孝	教育長職務代理者	齋藤 和夫
委員	黒川 優子	委員	山崎 克弥
委員	中野 信男	委員	秦 久美子

4 説明のため出席した職員

教育次長	山田 公一	主 幹	長谷川 智
学校教育課長	堀 克彦	子育て支援課長	白井 健次
社会教育課長	宮路 一規	統括指導主事	杵 淵 貢

5 本委員会書記

学校教育課 太田 和行 他3名

6 傍聴人

1名

7 会議に付議した事件

諸報告

- (1) 行事報告及び行事予定
- (2) 教育長報告

専決処分の報告について

報告第 7 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題

協議第 5 号 新規共催・後援申請について

議案

議案第 29 号 燕市第 2 次学校教育基本計画検討委員会要綱の廃止について

議案第 30 号 燕市立小学校及び中学校における学校医等の委嘱について

議案第 31 号 燕市教員研修視察派遣要綱の一部改正について

議案第 32 号 燕市立小中学校における衛生管理者及び衛生推進者の任命について

議案第 33 号 燕市食物アレルギー対応委員会設置要綱の制定について

議案第 34 号 燕市食物アレルギー対応委員会委員の委嘱について

議案第 35 号 燕市学校支援地域本部地域コーディネーターの委嘱について

議案第 36 号 燕市子ども・子育て会議委員の委嘱について

議案第 37 号 燕市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱について

議案第 38 号 燕市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

その他

(1) 「羽ばたけつばくろ応援事業 審査員」の推薦について

8 閉 会

会議録

別紙のとおり

1. 開 会 宣 言 午後1時30分～

2. 会議録署名委員の指名 黒 川 優 子 委 員

3. 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定について

〈各課長が報告〉

(2) 教育長報告

〈仲野教育長が以下のとおり報告〉

1 はじめに

- 大型連休が終わり、幼稚園やこども園、保育園では外での体育遊びや春の遠足、避難訓練が行われているが、ここ数日は、熱中症も心配される状況である。
- 小学校では運動会の時期(5/20・5/28・6/3)となり、その後は修学旅行を実施する学校もある。また、中学校では定期テストが行われ、その後は郡市大会に向けて練習が本格化する時期となった。
- 県内外でも被害のあった公立図書館にある記念誌などの被害については、先般市内の図書館で調査したが、今のところ被害は無いことがわかった。

2 交通安全教室

- 燕警察署及び燕市交通安全協会交通指導隊の方々による交通安全教室を全小中学校で実施しており、市長をはじめ、教育次長や主幹、指導主事が交通安全教室に出向くことにしている。
- 全交通事故の66.1%が交差点若しくはその付近で発生しており、一時停止や安全確認などの基本的なルールが遵守されていないことが挙げられている。各関係者の皆さまから、児童生徒が交差点や自転車運転中の事故を防止するためにお力添いをいただいております、交通事故ゼロを目指していきたい。

3 教員の長時間労働

- 文部科学省は昨年、全国の公立小中学校で勤務する約2万人の教師を対象に、勤務時間について10年ぶりに調査を行った。
- その結果によれば、公立中学校の教師の約57%が、過労死の目安とされる月80時間を超える時間外労働をしていることわかり、理由として土日の勤務が10年前の倍以上になっていることが挙げられていた。
- 今後、国や県から長時間労働の解消に向けた指導があると思うが、今後は、遅くならないうちに燕市の実態を調査するなどして把握に努めたい。

4 5月行事報告

(1) 教科書センター館長会議(5/10)

- 教科書センターの役割と管理運営についての説明の後、教科書採択等については社会的関心が高く、国の通知に基づき対応するよう指導があった。
- 当市の教科書の展示会は、6月16日(金)から6月30日(金)の14日間とし、会場は、燕市教育センター、燕市立図書館、吉田図書館、分水図書館で開催する。

(2) 中学校部活動担当者研修会(5/10)

- 県教育庁保健体育課学校体育指導係長から「学校における部活動の適正な在り方」と題して講話をいただき、各中学校の部活動主任などの教諭19人が研修した。
- この研修会では、県教育委員会の取組を紹介していただくとともに、体罰の根絶や教育効果の高い部活動の充実に向けた取組、部活動中における安全確保や事故防止の取組などについて指導をいただいた。

(3) がん教育研修会(5/12)

- 2月に実施した管理職及び養護教諭を対象にした研修会に続き、今回は児童生徒に直接指導する教諭や養護教諭27人を対象に研修会を開催した。
- 当日は、県教育庁保健体育課の指導主事から「新潟県におけるがん教育の推進について」と題して講話をいただいた。参加者は、がん教育のあり方について理解を深めるとともに具体的な事例に基づき研修することができた。

(4) つばめキッズファームの成果報告会(5/15)

- 市内の小学校では、平成28年度から、西蒲原土地改良区燕工区委員会のご寄付を活用し、地域農業者との交流、農業に関するイベントの実施など、これまでの農業体験学習の拡充をするための支援としてこの事業を始めた。
- 委員の方には、大関小学校の実践事例とその成果を報告するとともに、今年度以降の実施にあたりいくつかのご要望もいただいた。

(5) 燕市国際交流協会役員会(5/16)

- 来月6月19日(月)に総会が行われることから役員会に出席した。
- 教育委員会では、ミシガン州ダンディ村との姉妹都市交流、スピーチコンテスト、Jack & Betty 事業における海外派遣に加え、東京オリンピック・パラリンピックにおけるホストタウン構想を推進していることから、協会への積極的な協力が必要である。

(6) 第7回燕の水道の塔を愛する会総会(5/20)

- 現在の水道の塔は、平成23年度の改修工事を経て、平成25年6月に国の登録有形文化財に指定された。その後、教育の分野では、つばめっ子かるたや燕ジュニア検定では、地域に溶け込む風景などとして取り上げている。
- この水道の塔は、歴史を遡りいつまでも地域の誇りとして多くの方に親し

まれる文化財であるべきと考える。

(7) 新潟県都市教育長協議会春季定期総会(小千谷市：5/22)

- 教育長の異動は、2市(魚沼市、佐渡市)で、平成29年度の会長は長岡市、副会長は新発田市と上越市となった。なお、本市は平成31年秋の定期総会の開催市となる予定である。
- 国や県への要望として、学習指導要領改訂等に伴う必要な教職員の充足や栄養教諭・学校栄養職員の増員、小中学校の普通教室及び特別教室への冷房設備設置に対する補助制度の創設などについて県の担当者へ要望があった。
- 情報交換では、学校給食の無償化や就学援助に係る新入学児童生徒の学用品費等の前倒し支給、部活動への支援策についてが話題となった。
- 他市でも同様の課題を抱えていることから、協議事項や情報交換など有意義な総会であった。

4. 専決処分の報告について

報告第7号 共催・後援の教育長専決報告について

6件の共催・後援について

〈堀学校教育課長が説明〉

5. 協議題

協議第5号 新規共催・後援申請について

1件の後援について

〈堀学校教育課長が説明〉

○委員(中野 信男)

事業の内容は良いと思うが、資料について専門用語が使用され、少しわかりにくかった。要約すると子どもを集めてサバイバル体験を行うようだが、保護者も一緒に参加するのか。

○学校教育課長(堀 克彦)

基本的には子どもたちだけで行う体験活動であり、そこに燕三条青年会議所の役員が引率して指導にあたることになる。保護者も対象としているが、保護者の参加状況の確認はとれていない。

○委員(中野 信男)

どんな体験活動になるのか教えてほしい。

○学校教育課長（堀 克彦）

会場が栗島なので、できることが限られてくると思うが、大学生もボランティアで参加すると聞いている。また3年生から6年生までということで、学年をバラバラにして色々な学びを体験する内容だと考えている。

審議の結果、全員異議なく承認された。

6. 議案

議案第 29 号 燕市第2次学校教育基本計画検討委員会要綱の廃止について

議案第 30 号 燕市立小学校及び中学校における学校医等の委嘱について

議案第 31 号 燕市教員研修視察派遣要綱の一部改正について

議案第 32 号 燕市立小中学校における衛生管理者及び衛生推進者の任命について

議案第 33 号 燕市食物アレルギー対応委員会設置要綱の制定について

議案第 34 号 燕市食物アレルギー対応委員会委員の委嘱について

議案第 35 号 燕市学校支援地域本部地域コーディネーターの委嘱について

〈堀学校教育課長が説明〉

議案第 36 号 燕市子ども・子育て会議委員の委嘱について

〈白井子育て支援課長が説明〉

議案第 37 号 燕市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱について

議案第 38 号 燕市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

〈宮路社会教育課長が説明〉

○委員（黒川 優子）

議案第 33 号について、アレルギー等の問題が起こった時に、この委員会が招集されるのか。

○学校教育課長（堀 克彦）

アレルギーの問題が起こった時に招集されるのではない。まずは委員から意見をもらうなどして今後、指針をつくることになる。また、現状把握に努めるためアレルギーを専門としている先生、管理栄養士や学校の意見を参考にして、学校への確認や指導を行うために招集する予定でいる。年2回程度の開催を予定して

いる。

○委員（黒川 優子）

議案第 36 号について、子ども・子育て会議のメンバーの中には事業主代表の方や働いている人もいる。この会議は、教育委員会に対する提言を行うためのものなのか。この会議の立ち位置や意義を確認したい。

○子育て支援課長（白井 健次）

この会議の目的は、当市の子ども子育て支援に関する施策の総合的かつ計画的な推進に関し必要な事項および施策の実施状況を調査・審議することであり、提言というよりも市が提案した施策に対して意見をもらうことが目的となる。開催日数は明記していないが、これまで年 2 回程度開催をしている。

○教育長（仲野 孝）

簡潔に言うと、市が行っている子ども・子育て会議の事業に関して報告をして、委員から意見や要望等をいただく会議である。

審議の結果、全員異議なく議案第 29 号から 38 号は原案通り議決された。

7. そ の 他

- (1) 「羽ばたけつばくろ応援事業 審査員」の推薦について
〈堀学校教育課長が説明〉

8 閉 会 午後 2 時 31 分

教 育 長 仲野 孝

会議録署名委員 黒川 優子

会議録調整者 竹田 亮子
